

第517回基礎科学セミナー

日時：6月13日（木） 13:30～14:30

場所：先端基礎研究交流棟3階 第2会議室

講演者： 福嶋 健二 氏

(慶應義塾大学工学部物理学科・准教授)

演題： 重イオン衝突実験で探る

核物質・クォーク物質研究

高エネルギー重イオン衝突実験では、バリオン密度の低い領域で、クォーク・グルーオン・プラズマを生成し、その定量的な性質を明らかにすることに成功した。最近は、ビームエネルギーを下げて高密度側をスキャンし、所謂QCD臨界点を発見しようという試みが続けられている。しかしQCD臨界点を巡っては諸説入り乱れており、QCD相転移が、核物質の液相・気相相転移の臨界点に滑らかに繋がっている可能性も否定できない。また核物質からクォーク物質へのクロスオーバーが十分にならかなら、標準核密度近傍ですでに非閉じ込めの前兆としてクォーク/ダイクォーク自由度が見えてもおかしくないはずだが、まだ理論に不定性が大きい。本講演では、重イオン衝突実験と関連した様々な話題を、理論の立場からレビューする。

なお、今回のセミナーは、第31回「原子核ハドロン物理セミナー」を兼ねております。セミナー内容は

http://silver.j-parc.jp/hadron/hadron_seminar/index.htmlでご覧になれます。

<問い合わせ先>
先端基礎研究センター
ハドロン物理研究Gr.
佐甲 博之 (81-5361)